

## 第82回 研究倫理審査委員会【議事要旨】

日 時 平成28年10月13日(木)  
午後13時30分～午後16時30分

場 所 本学 大会議室

出席者 (外部委員) 内藤 富夫 委員  
秦 美恵子 委員(欠席)  
三宅 孝之 委員  
(内部委員) 若崎 淳子 委員長(欠席)  
佐藤 公子 副委員長  
橋本 由里 委員  
秦 幸吉 委員(N o. 187の審査から参加)  
藤田 小矢香委員  
(記録) 宇原 均(事務室管理課)

若崎委員長が欠席のため、佐藤副委員長が代行した。  
秦幸吉委員はN o. 187の審査から参加した。  
藤田委員はN o. 187の審査について、共同研究者のため審査から除外した

### 〈議事〉

#### 1. 申請書(3件)の審査について

##### 1) N o. 185(新規)

申請者：平松喜美子

課題名：出雲市佐香地区における介護予防教室の有用性について

結果：【変更の勧告】とする。

(主なヒアリング内容)

(委員) この事業はすでに活動をしていて、これから研究として考えておられるようだ。申請書に「研究視点を加味して」とあるが、何を加味するのか。

(申請者) 従来、この事業は10年間市から受託を受けて実施している。これまで、「こうだった」という報告しかしていない。「なぜこんな結果が出るのか」を考察し、掘り下げていきたい。それにより、地域がどのように変わっていくのかを見てみたい。今まで200例くらいのデータがあるが、活用されていない。

(委員) 審査するのは、「これから実施する」部分について審査を行う。これまでにすでに実施されたものについては審査、判断をしない。今回の申請でどのように代わるのか。

(申請者) 介護要望教室の活動内容はこれまでも、今後も変わらない。最終日に、参加者へ「データを研究として使ってよいか」依頼をする。

- (委員) 活動内容はすでに行っていることなので審査の対象ではなく、最後にデータを研究として使ってよいかという依頼をしたいということが審査の対象ということでしょうか。この申請書の中で、「なにを審査するのか」がよくわからない。これまでの活動状況が申請書に記載されているが、これは審査の対象外。これまでの蓄積データは研究に活用するのか。出雲市の承諾は得られているのか。
- (申請者) 活動の内容は審査対象から外すということか。一番は、最後にこのデータを使わせてほしいということ。前年度までのデータは活用しない。今年から使う。出雲市の承諾については、市の職員が共同研究者に入ってもらっているが、確認する。
- (委員) では、申請書は「これまでこういう活動をしてきている。そのデータを出雲市の承諾を得てこういうふうに活用したい」というふうに記載を。
- (委員) 共同研究者の小村さんの身分は？
- (申請者) 去年まで県立大学の教員だったが退職している。現在は非常勤嘱託となっている。
- (委員) 県立大と出雲市の両方で倫理的な審査を行うのか？出雲市は個人情報を提供することになるので慎重な姿勢になるのではないのか？
- (申請者) 出雲市に、個人データを使わせてほしいという承諾書は得ていない。今の話を聞いて得ないといけないなと思ったところです。
- (委員) 介護予防事業自体が、共同で行うものなのか、市から請け負ってやるものなのか、どちらにせよ、勝手に外に出せるものではないと思う。
- (委員) フィールドの承諾書だが、すでにとっているのか、今後どのおようにとっていくのか、記載がほしい。研究の目的とかどういところか今回の目的なのか記載がほしい。
- (申請者) 出雲市と詰めていく。
- (委員) データの保管は10年だが、在職期間を超えている。
- (申請者) 規定が10年となっているのでそう記載した。後任に引き継ぐことになると思う。
- (委員) 出雲市に返還するなどの方法もあると思う。
- (申請者) この知的財産権については審査はないか？規定には記述がないようだが。今回の件でしたら、今回の研究について出雲市が所有するのではと思っている。
- (委員) 共同研究者と話をされればよい。当委員会での審査対象とはしていない。

2 ) No. 186 (新規)

申請者：川瀬淑子

課題名：看護師の臨床判断力の要素

結果：【承認】とする。

なお、以下のことを申し添えた。

ヒアリングで出た意見について、よろしければ参考にさせていただき、もし、加筆修正されるのであれば、修正したものを委員会に提出してください。

(主なヒアリング内容)

(委員) 共同研究者に宮下先生が入っているが、広島大学の方でも倫理審査を受けるのか。

(申請者) 本学の方で受けるのみである。

(委員) 認定看護師または専門看護師が対象だが、認定看護師の場合は無作為抽出、専門看護師は5病院から抽出とのことだがなぜか

(申請者) 専門看護師は県内で8名が5病院で勤務している。その5病院に依頼し、半数程度から協力を得たいと考えている。

(委員) 認定看護師は6名程度の募集ということでよいか。

(申請者) 5名から6名と考えている。

(委員) 専門看護師は8名しかいない。経験年数を聞くと個人が特定されてしまうのではないかと

(申請者) 同意を得られた方を対象にしているので場合によっては特定される可能性があるかもしれない。検討したい。

(委員) 管理者に文書を送り、管理者が認定看護師、専門看護師に協力を指示するのか。そうであれば圧迫感で断れないのでは？

(申請者) 管理者には研究を了解してもらっただけであり、認定看護師、専門看護師への指示はない。ポスター等で参加を呼び掛ける。

(委員) P7の記載を見ると研究分担者と研究代表者で分担しあって畜語録を作成するように読めるが、間違いないか。

(申請者) 記載ミスである。代表者一人で行う。

(委員) テープ起こしは代表者がするのか。業者に委託は出すのか。

(申請者) 代表者がテープ起こしをするが、念のため業者にも出す。

3 ) No. 187 (新規)

申請者：小田美紀子

課題名：企業に勤める社会人とその家族に対するヘルスツーリズムを活用したメンタルヘルス対策

結果：【承認】とする。

なお、以下のことを申し添えた。

ヒアリングで出た意見について、よろしければ参考にさせていただき、もし、加筆修正されるのであれば、修正したものを委員会に提出してください。

(主なヒアリング内容)

(委員) P5 コーチングとは誰が行うのか？

(申請者) 申請者の私が行う。資格を持っている。

(委員) 一定のプログラム

(申請者) 一時間の中で

(委員) 訪問場所を雲南市にした理由は？

(申請者) 雲南市には湯村温泉がありストレスに効くということで。

(委員) 対象の40名はどうやって決める？

(申請者) 企業2か所に声掛けをしている。企業が声掛け、周知は協力してくれる。企業の従業員とその家族を対象とする。

(委員) コーチングで目標を決めるとあるが40人なら40通り？

(申請者) 一人一人に考えてもらう。

(委員) 子供も研究対象か？

(申請者) 子供も参加は可能だが研究対象からは外す

(委員) 調査は屋外か屋内か？他の温泉客に見られないか？

(申請者) 仕切られた部屋を貸し切って行うので、他の温泉客からは見えない。

(委員) 実施時期は11月。実施がずれるとすぐ12月になり、森林浴は向いていなくなってしまう。

(申請者) 天候や雨の場合などのメニューも考慮し、11月のうちに実施したい。

(委員) 対象者の雇用形態について、専業主婦というのは男性の場合もあるし人によってとらえ方が異なる恐れがある。注釈をつけるなどされては？また、その他に( )を付けて記載してもらうなどはどうか

(申請者) 検討したい。

(委員) 目標を達成できなかった方へのフォローはあるのか。

(申請者) 何ができるのか考えたい。

・ **次回委員会の開催日について**

次回（第83回）委員会は、11月10日（木）となる。

～ 以上 ～

議事記録者名(事務室管理課：宇原 均)